



【問い合わせ先】

清水海上保安部 交通課長 柏木秀美
電話 054-355-0225

平成26年12月31日

清水海上保安部

低気圧接近に伴う海難防止について

清水海上保安部では、低気圧の通過に伴い冬型の気圧配置が強まる見込みであり、静岡県では31日夜のはじめ頃から1月1日にかけて、西よりの風が海上を中心に非常に強く吹き、海上では最大風速が25メートル（中部南）に達する見込みであることから、海難事故を未然に防ぐため、31日1200海事関係者に対し厳重な海難防止対策及び連絡体制の確保を図るよう注意喚起（別紙参照）を行いました。

(一斉同報FAX)

平成26年12月31日

12時00分

清水港港台風・津波等対策協議会会員	各位
田子の浦港台風・津波等対策協議会会員	各位
大井川港台風・津波対策関係会員	各位
焼津港安全対策協議会会員	各位
沼津市域 台風・津波等船舶安全対策協議会会員	各位

清水港長
田子の浦港長
清水海上保安部長

低気圧接近に伴う海難防止について

静岡地方気象台の情報(12月31日05:55発表)によれば、31日は低気圧が日本海を急速に発達しながら東に進み、1月1日にかけて本州付近を通過して、東海上に進むでしょう。低気圧の通過後は、日本の上空に強い寒気が流れ込み、1月3日頃にかけて冬型の気圧配置が強まる見込みです。このため、静岡県では31日夕方から風が強まり、夜は大荒れの天気となり、海上は大しけとなる見込みです。31日夜のはじめ頃から1月1日にかけて、西よりの風が海上を中心に非常に強く吹き、海上では最大風速が25メートル(中部南)に達する見込みです。

各位におかれましては、今後の気象情報の入手に努めるとともに、嚴重な海難防止対策及び連絡体制の確保を図るようお願いいたします。

1. 最新の気象情報の入手に努めること。
2. 沖出し避難が適切と判断される場合は、十分な時間的余裕をもって早期に避難すること。
3. 錨泊船舶は、VHFch16を常時聴取するとともに、船橋当直の配備、錨鎖の適切な伸出量の確保、AISの作動、機関のスタンバイ等を行い、嚴重な走錨防止対策を講じること。
4. 係留船舶は、係留索の増強、保船要員の確保等を行い、十分な保船対策を講じること。
5. 万一に備え、タグポートの手配ができるよう連絡体制の確立を図ること。
6. 高波、強風により、岸壁・棧橋等の水際線付近にある物件等が流出しないよう流出防止策を講じること。
7. 工事・作業現場においては、中止基準を遵守するとともに、資機材の流出防止措置を講じること。

※ 本情報は、会員等関係者あてに一斉同報によりFAX送信しています。
(清水海上保安部 交通課 TEL: 054-355-0225)